

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年5月31日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要









企業・団体名	株式会社ポートサービス
所在地	神奈川県横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル7F
代表者役職・氏名	取締役社長 齊藤 宏之
担当者連絡先	電話：045-201-7781
	メール：m-naito@yokohama-cruising.jp
ウェブサイトURL	https://www.portservice.jp (交通船)

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は1953年(昭和28年)7月に東京汽船株式会社、藤木企業株式会社などの数社が合併して設立された交通船を主とする会社であり、横浜港を中心に東京湾全域の水先人艇・作業船・交通船を手配・運航する交通船部と、観光船『マリーナルージュ』及び海上交通船『シーバス』を主に運航する観光船部を事業の主軸として展開している。</p> <p>また、近年では洋上風力発電施設の建設現場へ陸上マネージャーと船員が参加するなど、時代に即した再生可能エネルギーを作り出す現場への積極的な参画も行っている。</p>
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 ✓社会 □経済	新たに『業務管理室』を新設し、計画的な社員教育を実施	安全・法令遵守に関する社員教育の受講率 【現状】受講率 15% (2022年度) 【目標】受講率 100%
□環境 ✓社会 ✓経済	労働環境の改善への取り組み	月平均時間外労働時間の短縮 【現状】65時間 (2022年度) 【目標】35時間
□環境 ✓社会 □経済	安全を最優先に考慮した事業運営	重大労働災害(死亡事故)発生ゼロの継続 【現状】0件 (2023年5月1日現在実績) 【目標】0件 (2030年度継続目標)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・あらゆる雇用条件(雇用・教育・昇進・配属など)において差別をしないことを大前提としている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメント禁止の旨を就業規則にて明記している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・新たに『業務管理室』を設置し、長時間労働是正のための環境改善・管理体制の構築に取り組んでいる								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・外国人労働者の就労に関しては一切の制限を設けず、実際に採用実績もあり				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・運航開始前の検温、飲酒チェック及び運行管理官による体調チェックを行なっている			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・担当上司による定期的な面接を実施している。また総務部への直接連絡が可能になっている			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・女性・高齢者が活躍できる業務があり、また実際に就業している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・安全運航についての教育訓練を定期的実施し、安全に対する意識を高めている				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・年一回の定期健康診断受診の実施及び、会社から有給休暇の取得を促している			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・ゴミの分別廃棄を全事業所に徹底し、3Rの推進に取り組んでいる										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3				12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3				11.6	12.4						

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・ 燃料油や作業油が船舶から流出しないよう船員に定期的に周知徹底している						6.6								15			
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・ 船内で使用する水の節制に積極的に取り組んでいる						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・ 事務用品購入時にエコマーク商品等のグリーン購入を推奨している											12.2	13	14	15			
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ 定期的な避難・防火訓練の実施及び、船内装備の確認と清掃を実施している			3.9									12.4					
	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ 品質向上に対する取り組みには社員の意識の向上教育(マナー研修・安全教育・操船訓練等)を行い、良いサービスを提供するプロセスを構築している										9							
	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6					12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・ 横浜市と災害発生時に被災者の救助や物資輸送に協力する協定を締結している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・ 横浜港の公的な海上交通の一部であることを自覚し、地域観光資源の発展に寄与している				4						9	11	12		14	15	17	
	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる					4						11			14	15		17	
	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	・ 地域のイベントなどを積極的に外部発信し、イベントクルーズの運航で観光客の満足度向上に寄与している									8	9	11	12	13				

